

あなたの「健康」を守る 国保の健診

「基本健診」・「人間ドック」

5月から6月にかけて、「国保の健診」を実施します。
「忙しいから…」「まだまだ若いし」「特に体の調子は悪くないので」といって健診を見送っていませんか？自分では健康だと思っても自覚症状がないまま病気が進行することも…。病気の早期発見のためにも1年に1回は健診を受けましょう。

錦江町役場 保健福祉課 保険衛生チーム ☎ 0994-22-3041



■若い方も定期的に健診を
特定健診の受診率目標値は60%以上となっています。(達成状況により国保の負担が増える場合があります)

錦江町では、平成24年度以降50%以上で推移していますが、年代別に見ると若い年代層(40歳から50歳代)の受診率が低く、特に男性の受診率が低い状況です。働き盛りの若いうち、自覚症状が出ていない今のうちこそ、自分や家族の健康管理のために健診を受診しましょう。

錦江町の国保健診受診率は？

平成30年度の国保健診はしまります

■国保の健診は2種類

国保の健診は、国民健康保険に加入している方を対象に年に1回実施しており「基本健診(特定健康診査)」と「人間ドック」の大きく2種類に分けられます。基本健診では、血圧や尿検査、血液検査を行うことで、糖尿病や高血圧といった、症状が悪化してから自覚症状がでる「生活習慣病」を早期に発見し、重症化する前に防ぐことを目的に行っています。また、人間ドックでは、それらの検査項目に加え、肺機能や腹部超音波、X線検査、血液検査、心電図検査などさらに詳しい検査を行います。

■今回から「胃がん検診」「腹部エコー検診」も基本健診の会場を受診できます

骨粗しょう症検診や大腸がん検診(どちらも40歳以上が対象で無料)に加えて、今年度から「胃がん検診」と「腹部エコー検診」も基本健診の会場を受診できるようになります。(どちらも40歳以上が対象で非課税世帯及び70歳以上は無料)
1年に1回の健診です。病気の早期発見や生活習慣を見直すきっかけになりますので忘れずに受診しましょう。

※胃がん検診は900円、腹部エコー検診は1,500円の検査料が必要です

Q. 検診の費用ってどれくらいかかるの？

A. 基本健診は、国保に加入している40歳～74歳(75歳以上は後期高齢者医療保険で実施)の方を対象に実施しており、健診は**無料**で受診できます。人間ドックの場合、費用の40%が助成されますので、例えば42,660円かかるときは実質負担25,660円で受診できます。また、42歳の方は若年助成が適用され8,660円で人間ドックを受診できます。(例の金額は、肝属郡医師会立病院の平成30年度の人間ドック予定単価)

Q. 治療のために定期的に病院で検査しているので、国保の健診は受診しなくてもいいのでは？

A. 治療のための検査は、治療と関係ない項目については検査していない場合もありますので、基本健診の受診をおすすめします。

Q. 基本健診には何をもらえばいいの？

- A. ●受診券 ●問診票
●尿容器(当日の朝採取したもの)



※人間ドックの自己負担額は増減することがあります。申し込まれた方には4月中旬頃に届く「人間ドック確定通知」でご確認ください。
※若年助成適用年齢は、昭和52年生まれの方が対象となります。